

鳥取県中部発

未来ウォーク 10周年を終えて

中

2009年6月5日、鳥取県倉吉市で大韓ウォーキング連盟の李康玉理事長と平井伸治鳥取県知事、村山友宏日本ウォーキング協会(JWA)会長

出席のもと、第9回日本海未来ウォーク記念フォーラム「ウォーキング立

県TOTTORIをめざして」が開催された。

その中で、平井知事は県民に毎日2千歩ずつ多く歩くことを推奨、健康づくりを地域の文化として定着させることを提唱し、「ウォーキング立県とっとり」の

実現に向けた第一歩が踏み出された。その後、今年5月には、鳥取県内の19市町村を歩き、子どもから高齢者まで

ウォーキングへのきっかけづくり、ウォーキングしやすい環境づくりの実践が始まった。

一方、04年韓国原州市で開催された韓国ウォーキングフェスティバルに招待されたNPO法人未来は、日本の代表として熱烈的な歓迎を受け、大韓ウォーキング連盟と友好協約を締結した。

毎年、世界各国から数万人が参加する大規模な大会とまだ日本でも駆け出しの小さなウォーキング大会が世界各国の代表と同じレベルに着くことになり、以

後、お互いの交流は深まっていた。今年、世界で初めてとなる2カ国共同開催による「日韓ピースウォーク」はこの一期一会の固い友情の絆で結ばれた一つのウォーキング大会の成果として生まれた。

ウォーキング立県と日韓交流

数日間をわた

り、2国間250キロに及ぶコースを踏破した34

人のウォーカールもゴールで迎えたボランティアも大きな感動に包まれ、お互いの友情はさらに深められた。

日韓交流に大きな足跡を残したものと思う。

松田 隆(NPO法人未来副理事長)